

どくそうてき 独創的メカづくりが しょうらい 将来の日本を くにづく 築く



ねんど 2013年度 日本機械学会優秀製品賞受賞

（日本の先端科学技術の紹介）

ふくれつ 『複列アンギュラローラーリング RW形』

8月7日は「機械の日」

8月1日～7日は「機械週間」

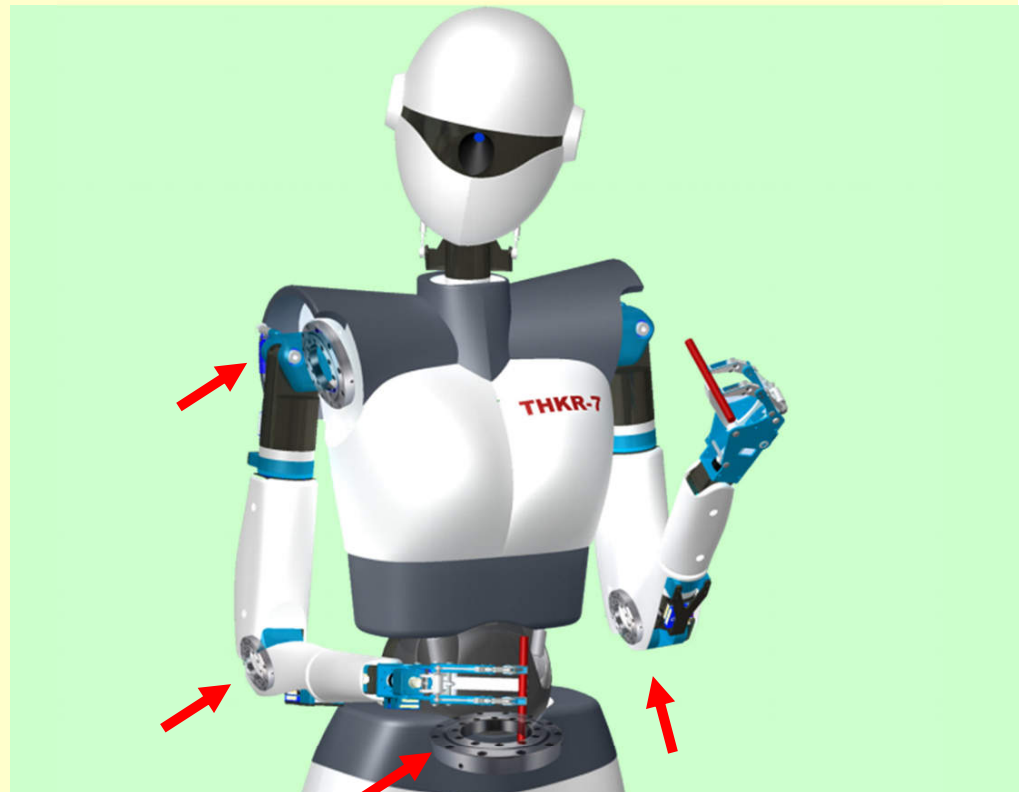
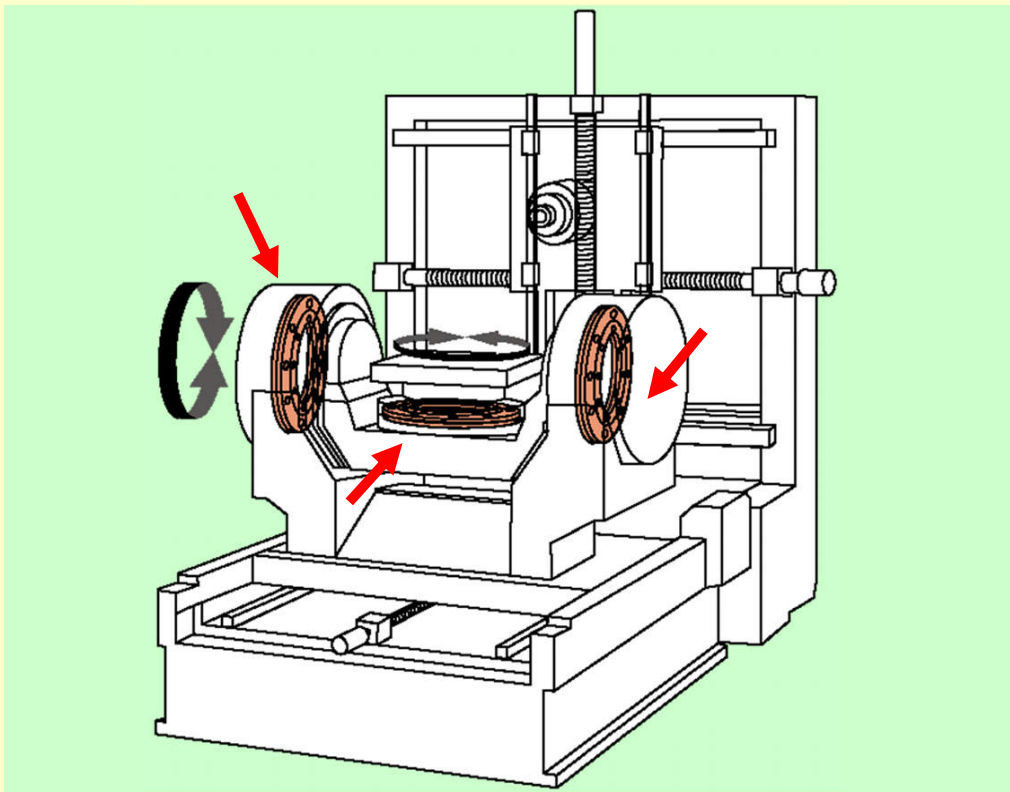
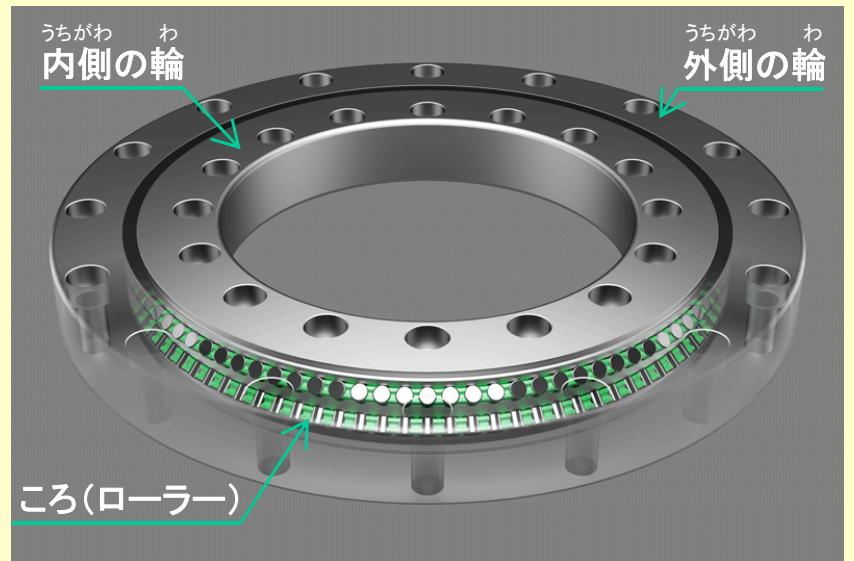
よ なか づくり ささ こう きのう 世の中のもの作りを支えるコンパクトな高機能リング

ていえちけー かぶしきがいしゃ THK株式会社

あーるだぶる RWって、なーに？

あーるだぶる RWは、内側の輪と外側の輪の間に「ころ（ローラー）」が並んで入っていて、どこから重さを受けても支えることができるリングのことです。

あーるだぶる RWは今までの製品より小さな「ころ」を使い、その「ころ」を二列に並べて、よりたくさんのころ（約4倍）をいれたことで、今までより50%以上も強い部品になり、より正確に回転できるようになりました。リングの大きさは今までどおりで、小さな力でも軽く動かすことができ、より速く回転できるようになったので、世界中の工作機械の性能アップに役立っています。



【工作機械】

工作機械とは、車・テレビ・パソコンなどのたくさんの製品を作るために、その素材となる金属を切ったり、削ったり、穴を開けたりする機械のことです。

RWは、主に工作機械と呼ばれる機械のテーブルを回すところに使われています。工作機械をより速く、より正確に動かす、短い時間でよい品物をたくさん作るために、このRWは作られました。

【ロボット】

人間でいう肩やひじなどの間接部分に、RWは使われています。人の代わりに、重たいものを運んだり、とても細かく難しい組立作業を行うことができます。